

5 展 示

(1) 常設展示

『未来へつなぐ熊本の記憶 一集める・伝える・創造する一』をテーマとし、1階は熊本の歴史や文化について、2階では人と自然の関わりを中心に紹介している。

展示資料とともに、キオスク端末による映像資料や解説等も行っている。また、音声ガイドによる外国語ガイド（英語・韓国語・中国語）も導入している。

波奈之丸展示室

重要文化財「細川家舟屋形」（藩主細川氏が使用した御座船「波奈之丸」の船屋形部分）を展示している。大藩で用いられた海御座船の船屋形としては、国内で唯一現存するものである。

才園古墳展示室

重要文化財「肥後国球磨郡免田才園古墳出土品」を展示している。鎔金獣帯鏡や豪華な金銅製馬具類、装身具類、鉄刀などがある。鎔金獣帯鏡は普通の鏡より上位に格付けされ、九州南部の内陸交通の要衝であった人吉盆地の有力者に、近畿中央政権から贈与されたと考えられている。※資料保存の観点から 2025 年 5 月 8 日より当面閉室。

1階 人文系展示

「熊本の歴史と文化の由来をさぐる」

旧石器時代から中世、そして現在の市街地の基礎が形成された近世を経て、近代の都市・軍都へと変貌した熊本の歴史について紹介している。

2階 自然系展示

「熊本の自然にひそむ魅力と不思議に気づく」

地質分野では、熊本で見つかった化石、岩石、鉱物等の展示により大地の生い立ちを解説している。

生物分野では、熊本市内の身近な自然として、江津湖と金峰山の多様性について紹介している。

縣市連携展示室

熊本県博物館ネットワークセンター所蔵の自然系資料を展示している。



考古展示



歴史展示



民俗展示



地質展示



生物展示

(2) 常設展示入替

【地質】

期 間 12月2日(火)～

内 容 イノセラムス アマクセンシス化石
(熊本層群の時代を決めた神園山産の二枚貝化石。新熊本市史に写真で紹介されたもの)

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

【歴史・美術工芸分野】

期 間 6月21日(土)～8月14日(木)

内 容 《刀 銘 九州肥後同田貫兵部／慶長三年八月日》

《薙刀 銘 九州肥後同田貫次兵衛》

場 所 1階「肥後の武士たち」

期 間 8月15日(金)～10月20日(月)

内 容 《薙刀 銘 九州肥後同田貫又八》
《刀 無銘 伝来国行》

場 所 1階「肥後の武士たち」

期 間 10月21日(火)～12月15日(月)

内 容 《薙刀 銘 肥州住藤原清国作》
《刀 銘 肥後同田貫宗廣／嘉永三年三月日》

場 所 1階「肥後の武士たち」

期 間 12月2日(火)～

内 容 《渾天儀》

場 所 1階「学問の広がり」

期 間 12月16日(火)～

内 容 《太刀 銘 国時》

《大身槍 銘 九州肥後同田貫源左衛門》

場 所 1階「肥後の武士たち」

期 間 2月8日(日)～

内 容 《海老置物》

《小代焼 如意》

場 所 1階「成熟する肥後」

【考古分野】

期 間 5月8日(木)～

内 容 重要文化財「肥後国球磨郡免田才園古墳出土品」(あさぎり町蔵) 特別展示室を資料保存の観点から当面閉室。5月31日以降、レプリカを除いた本資料関連一切を保存科学分野に移管。

場 所 1階「才園古墳展示室」

(3) 期間展示

ア 干支(午年) 関連展示

【植物】

期 間 1月4日(日)～2月1日(日)

内 容 さく葉標本(ウマゴヤシ、ウマノアシガタ)

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

【動物】

期 間 1月4日(日)～3月22日(日)

内 容 ウマの前肢骨格標本
ウマの下顎骨格標本

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

イ その他

【植物】

期 間 2月3日(火)～3月29日(日)

内 容 季節の植物観察(種子標本等)

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

(4) 展覧会

ア 特別展

(ア) 夏季特別展「江戸の遊び絵づくし 粋でゆかいな浮世絵ワールド」

期 間 7月12日(土)～8月31日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 町民文化が花開いた江戸時代において
人気を博した「浮世絵」のうち、庶民が
親しんだ「遊び絵」作品を紹介。

来場者 15,900 人

図 録 有



〈チラシ〉

●関連行事

- ・自分だけの浮世絵をつくろう

日 時 7月26日(土)

10:00~11:30 14:00~15:30

場 所 実験工作室

参加者 89 人



〈イベント風景〉

- ・影絵であそぼう！

日 時 8月16日(土) 17:00~20:00

場 所 講堂

参加者 164 人

- ・福笑いお面でにらめっこ！

日 時 8月23日(土)

10:00~11:30 14:00~15:30

場 所 実験工作室

参加者 57 人

(イ) 冬季特別展「八雲とセツ 家族の物語」

期 間 2025 年 12 月 2 日 (火) ~

2026 年 2 月 23 日 (月・祝)

〔2 月 15 日から同月 23 日まで会期延長〕

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 小泉八雲とその家族について、熊
本時代を中心に紹介するもの。

来場者 13,556 人



〈チラシ〉

●関連行事

- ・記念講演会

日 時 12月13日(土) 13:30~16:00

場 所 パレアホール

講 師 小泉凡氏(小泉八雲記念館 館長)
小泉祥子氏(同学芸ディレクター)

参加者 263 人

- ・展示解説

日 時

場 所 特別展示室1・2・3

日 時 1月17日(土) ほか 7回

場 所 特別展示室1・2・3

参加者 425 人



・プラネタリウム「八雲の見た星空」

日 時 12月5日(金) ほか 14回

場 所 プラネタリウム

参加者 786人

イ 企画展

(ア) 送るー熊本県下の精霊流しー

期 間 2025年3月25日(火)～

6月1日(日) [前年度より継続]

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 熊本県下の精霊流しの歴史と特徴、
変遷を紹介するもの。

来場者 15,466人(4/1～6/1)

※全会期中の来場者数は、あわせて17,482人

図 録 有(完売)



〈チラシ〉

●関連行事

・講演会「熊本県下の精霊流し」

日 時 5月3日(土) 10:00～11:00

場 所 講堂

講 師 湯川洋史(当館学芸員)

参加者 61人



(イ) あなたのそばにエイリアン！？ー身近な外来生物ー

期 間 9月23日(土)～

11月24日(月・祝)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 熊本で見られる身近な外来生物を中
心に標本や写真パネルで紹介した。

来場者 19,745人

●関連行事

・ミュージアムトーク

日 時 9月27日(土)、10月18日(土)、
11月9日(日)、11月16日(日)
14:00～14:30

場 所 特別展示室1・2

参加者 84人

・クイズラリー

日 時 10月25日(土)、10月26日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

参加者 65人



〈チラシ〉

(ウ) 熊本地震10年展 ～今、語りかけるもの～

期 間 2026年3月24日(火)～

5月17日(日) [次年度継続]

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 熊本地震発災当時の様子を、パネ
ル展示や資料映像等で振り返る。

来場者 2,177人(3/24～3/31)



〈チラシ〉

ウ 共催展

(ア) 熊本市遺跡発掘速報展 2025

※冬季特別展開催に伴い、塚原歴史民俗資料館にて開催。

期 間 1月10日（土）～
3月15日（日）

場 所 塚原歴史民俗資料館

内 容 近年の市内遺跡発掘調査や整理作業の過程でわかった成果を、出土遺物や写真パネルで展示。併せて当資料館が所蔵する資料から、小林久雄氏の発掘調査関連資料を同時展示。

来場者 705人